

平成23年 4月 1日 発行



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第21号

よちよちちゃん





“みんなが一つになって 創意工夫し、努力しよう“

東日本大震災で被災された方々に心より
お見舞い申し上げます。

幸いにも秋田県は小さな被害で済んでお
ります。このようなときは元気なところは
より元気で頑張ること、そして出来ること
をしていく事が一番であると思います。

このような状況の中、平成23年度がス
タートしました。「未来を担う子どもたちの
笑顔をいっぱいにすること」を乳児院の役
割として、入所児の養育、親・家族支援、
地域の子育て支援事業の3つの機能を強化
してまいります。

柱である入所児の養育については、第二
小規模グループケア室を開設しました。こ
のにより、乳児院の養育単位が小グル
ープ化され、家庭的な雰囲気の中でより手
厚いケアができるようになり、子どもたち
がのびのびと生活しております。

人の土台作りとなる大切な乳幼児期を豊か
な愛情と専門的な知識・技術をもって養育し
てまいります。そして、将来起こりうる困難
を強い心で乗り越えられる子どもを育てま
いります。

また、家庭再統合を目指す親支援、次世代
育成支援としての子育て支援事業の継続を図
り、地域の身近な乳児院として職員一同努力
してまいります。

院長 石山悦子



災害時の対策強化



今回の震災では当院においては多大な被害がな
かったものの、一日半電気のない生活を送ること
となりました。通電後も流通が回復するまで紙オムツや
ミルクの不足が心配されました。

今回の経験を教訓として、早速水や食糧等の備蓄
について見直しを図り、災害時の物資保管場所につ
いてもそれぞれの場所から1か所に確保し、新たに
整備補充がなされました。



停電を想定して訓練中の職員



ばんだ組 スタート

小規模グループケアの2室目となる「ばんだ組」が23年度からスタートしました。改築工事が終了し、新しい木の香りがする室内には、家具・家電が用意されより家庭的な環境が整いました。

4人の子どもが所属となり、担当保育士3人でひとりひとりをよく見つめ、細やかな養育をしていきます。



現場整備OKです！



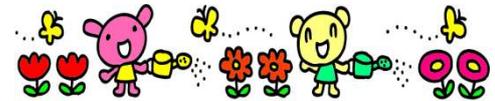
子どもたちとオールスタッフ



やさしさ、思いやりを育みます



保育室ダイアリー



ことり組

ことり組は、お部屋でピクニック気分を楽しみました。雪や震災でなかなか外出ができないため、かわいなお弁当箱に、昼ごはんをつめて、シートを敷いて座り、みんなでお食事をしました。

かわいなお弁当箱やおかずの話で会話も弾み楽しい時間になりました。



ぼんび組



おもちゃの家から笑顔であいさつ

おもちゃのお家を寄付して頂きました。組み立てると、1LD?のステキな一軒家です。扉を開けて、出たり入ったり、窓から「バー」っと顔を見せたりとても楽しそうです。

子どもたちの様子を見てみると、まるでこびとの国に遊びに来た気分になりますよ。

ひよこ組

Hくんは1歳3か月です。歯が上4本、下4本生えています。数日前から歯磨きの練習を始めました。

歯ブラシを持たせると、見よう見真似で、いっちょまえにゴシゴシとブラッシング。「上手ね。」の声に、満足そうな笑顔を見せてくれます。最後の仕上げもじっと磨かせてくれ、お兄さんの仲間入りです。



～新しい仲間を迎えて～



看護師と社会福祉士が養育に加わり新年度がスタートしました。新任の看護師は子育て経験があり、次子出産予定でもあります。子育て支援事業の「プレママサロン」では、参加者に寄り添い身近なスタッフになることを期待しています。

また、待望の男性スタッフには、家庭支援専門相談員として親・家族支援を担うとともに、子ども達の父・兄役として力を発揮して欲しいと思います。すでにダイナミックな遊びで子どもの心をつかみ、また、力仕事を引受けてくれて頼もしさを感じています。

職員がそれぞれの力を十分発揮でき、ひとつになって早く仕事ができる職場作りを進めていきたいと考えています。(佐々木養育係長)



新任職員の京極さんと佐藤さん(右)



春のおとずれ

昨シーズンは、毎日毎日雪が降り続き大雪でした。駐車場は、寄せても寄せても積もる雪にもう寄せる場所がない状態でした。

そんなとき、「秋田安心リフォーム協議会」の皆さんがボランティアに来てくれました。

4台のトラックで30往復。除排雪は一日がかりでした。

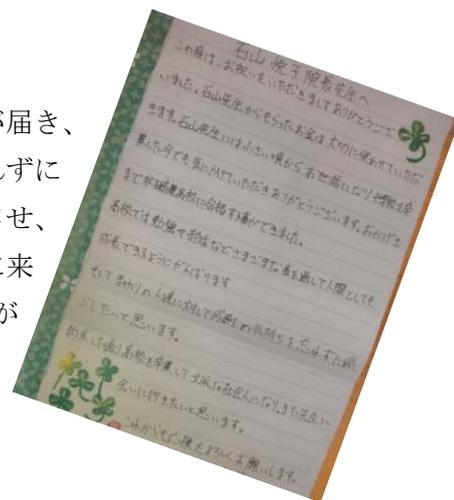
どこよりも春は早かったです。



高校入学おめでとう

乳児院を巣立ち、今春希望の高校に入学したTくんが来院しました。大きく成長した姿に感激すると同時に「大きな口を開けて大きな声で泣く赤ちゃんだったのよ。」と担当だった職員に声をかけられ、はにかんだ微笑みには、小さかった頃の面影がありました。

後日、お礼の手紙が届き、「感謝の気持ちを忘れずに部活動と勉学を両立させ、卒業したらまた会いに来ます。」と力強い決意が記されていました。



赤十字もっとクロス

秋田県にある5つの赤十字事業所を紹介するパンフレットが出来上がりました。

この機会に赤十字の活動をたくさんの皆様に知っていただきたいですね。



編集後記

大震災で被災された方々の力強く頑張っている姿に、こちらが励まされる思いです。

今、こまめに電源のスイッチを切る、近場の買い物では車は使わないなど生活を見直す機会となりました。

不便を感じる自分はどこにもいない。このことを日常としていくつもりです。(伊藤)